

育成会だより



第83号
平成26(2014)年
3月10日発行
発行者
下津第一中学校
育成会文化人権部

「贈る言葉」 校長 木村 拓司

卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。

私は、下津小学校での二年間、下津第一中学校での三年間の計五年間皆さんと一緒に過ごすことができました。五年の間、心も体も大きく成長していく君たちと卒業式を迎えられることに、格別な思いがあります。

「おはようございます」のさわやかな挨拶から一日が始まり、集中した授業、清掃や作業でのひたむきな姿、部活動や学校行事でのきびきとした動き、小中九年間培ってきた友情で、学校の中心になって、活躍してくれました。

体育祭の取り組みでは、夏休み中に、ヒップホップや元宝塚歌劇団の先生を招いて、基本の動作や集団行動の隊形等を、汗だくになりながらマスターしました。それを自分たちの創作ダンスに取り入れ、見本を見せながら、必死に一・二年生に教えてくれました。今までにない、体を大きく使って表現するパフォーマンスは、躍動感あれる演技でした。汗を流し、頑張った後には、キラリと光る涙がありました。私は、君たちのそんな姿を見て、感動を覚え、そして、誇りに思っています。

また、二〇一一年三月十一日に発生した東日本大震災の被災地及び被災者を応援するため「一〇〇万人の花は咲く」NHK東日本大震災プロジェクト」に、三年生が、ミュージックビデオで参加しました。今、NHKのサイトで公開されています。みんなの素晴らしい歌声、素晴らしいハーモニーは聴いている人に感動を与えてくれました。

さて、卒業にあたり、これから広い世界に羽ばたいていく皆さんに、三つの話をして、はなむけにしたいと思います。

まず一つめは、『努力』です。何かを成し遂げようと思ったら、努力は欠かせません。怠けていて、サボっていて成功や栄冠を得ることはできないのです。一昨年十月にノーベル医学生理学賞を受賞した山中伸弥氏は、様々な試行錯誤を繰り返してiPS細胞の開発に成功しました。そして今もなお改良を加え、多くの人を病気から救うために努力を重ねています。

また、昨年、若き女性研究者、小保方晴子(おぼかた はるこ)さんは、常識を覆す発見となった新型の万能細胞「STAP(スタッフ)細胞」を作製し証明することができました。

実験は、失敗の連続で、だれもが無理だと思っていました。「今日失敗したらもうやめよう」といい、また、次の日になると、「今日失敗したらもうやめよう」を繰り返して、決してあきらめませんでした。

皆さんの中には、まだ何に努力しているのか分からない人も多くいると思います。そんな人も次の高校三年間で努力する対象を見つけ、ゴールを目指して努力を積み重ねて下さい。そうすれば、きっと充実した人生を送れるものと確信しています。

二つめは、『感謝』です。人間は一人で生きていけない社会的な動物です。常に他者との関わりの中で生きています。皆さんの周りには常にいろいろな人がいると思います。時には励まされ、時には勇気づけられ、時には助けてくれます。その人間関係を築いていくためには、『感謝』を忘れないことです。小さな事でも自分のためにしてくれたことに「ありがとう!」と言える人間になってください。その積み重ねがよい人間関係を生み、次の成長につながります。

三つめは、『健康』です。生きていくうえで、必要なのは、なんとと言っても気力です。「やるぞ」という気持ちです。その気持ちを生むのが健康です。心身に病気を抱えていれば、この気力も失われます。皆さんは、若くて健康な心と体を持っています。この青春の時期に、是非とも体と心を鍛え、一生を元気に生き抜く土台を作ってください。

以上『努力』『感謝』『健康』に三つの言葉を胸に刻み、新たなステージで、たくましく自らの道を歩んでいくことを期待しています。

下津第一中学校の先生方は、卒業後も一人一人の姿を見守っています。日々、努力している姿、成長した姿を見せに来て下さい。皆さんの未来が素晴らしいものでありますよう心から祈念しています。

皆さんの未来が素晴らしいものでありますよう心から祈念しています。

「卒業おめでとう!」をいえます! 谷口公志

笑顔で挨拶、進んで掃除、行事等で一杯頑張る君たちの姿に、下津一中のよき伝統と人としてのすばらしさを見ました。

さて、オリンピック代表選手が練習で何度転んでも立ち上がりチャレンジする姿に、何度失



敗してもあきらめず、考え、立ち向かう行動力を見ました。これからの人生七転び八起き精神で、感謝の心を忘れず、悔いを残さず、一杯力を出し切って、自分の未来を切り拓いて下さい。

「三〇一四」

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

二年前。どんなクラスにしたかったのか、という話し合い。出てきた言葉「自主性」。

一年前。自分たちの色を出したい。でも色(個性)は様々。出てきた言葉「二十六人二十六色」。

人文字での学年目標・・・何かある度に班で活動した二年間。自分たちで会話を増やせる機会が増えました。共に活動することで笑顔が、笑い声が増えました。たくさんの人達と出会い、いくつもの思い出を作りました。修学旅行を通して協力することの楽しさを感じました。体育祭を通じて思い通りにいかない苛立ちや不安、やり遂げた時の達成感を味わいました。全体パフォーマンスでは躍動感あふれる演技にこだわり、いい表情で踊りました。様々なことを体験するにつれ、自分では気づかないうちに大きく成長しました。

これから先、みなさんはそれぞれの道に進みます。その中で人との関わりが増え、楽しさや喜びを感じるようになります。同時に難しさも感じるはず。しかし、その壁(難しさ)を乗り越えるたびに、自分に自信が持て、人としてひとまわりもふたまわりも成長することでしょう。最後に・・・共に力を合わせて頑張り合える仲間を大切に。



相谷 直佳



♥三年生担当職員より♥

「声に出して」

柏木 公子

小説の世界では、人が喜び、怒り、哀しみを物語ります。自分には関わりのない世界なのに、いつのまにか、その気持ちに寄り添っている自分があります。私たちの周りにいるどの人も、小説のように物語らないけれど、喜び、怒り、哀しんで、日常生活を送っています。でも、毎日とともに過ごす友人や家族であつても本当のところを知らないでいることは、案外多いかもしれません。たった一度きりしか会わなかった人ならなおさらです。ただ、あなたに関わってくれたどの人も、あなたが思うよりずっと多くの心遣いや準備や工夫をあなたのためにしてくれました。たった一度の出会いだったかもしれないけれど、地域のことを教えてくださった人、自宅や事業所に招いてくださった人、ダンスや読み聞かせを教えてくださいました人、自分の生き方を講話してくださった人、あいさつの声をかけてくださった人、・・・どの人もみんな。そして、出会ったときの「こんにちは」、してくださったことへの「ありがとう」。あなたのそんなひと言に報われると思うのです。これからも出会うであろう多くの人に、愉快な気持ちになるひと言を声に出して伝える人であってください。前途に幸多かれとお祈りします。

「二十六名の卒業生のみなさんへ」

根岸 隆一

卒業おめでとう。君たちは、三年間の中学校の教育課程を修められ、新しい学校社会に飛び立ちます。

君たちとかかわった二年間。社会科の学習で現代社会の見方・考え方を私なりに話してきたつもりです。これからの多様な価値観が氾濫する個人化の時代では、個々に価値判断をすることが求められます。誰にも頼らず、自分で判断できる力を色々な場で育て続けてください。最後に、福澤諭吉翁著「學問のすゝめ」にある次の一節をおくりします。

「活なき学問は無学に等し」

これからの知識基盤社会では、学習したことを使いこなすことが求められます。新しい学びの場でも多様なことを学び、活用してください。

♥教職員より♥

「祝、卒業」

中鳥 淳子

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。私がとても印象に残っているのは、体育祭のときの皆さんの生き生きとした表情です。そしてもう一つは二年生の時の家庭の時間に、ぎこちない手つきで肩こりを起こしながらも一生懸命に手袋を編んだことです。素直で真面目な二十六年でした。故郷下津で学んだことを忘れず、力強く羽ばたいていってください。

高橋 健太

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。"Learn from yesterday, live for today, hope for tomorrow. The important thing is not to stop questioning." "過去から学び、今日のために生き、未来に希望をもって。大切なことは疑問を持つことをやめないことだ。"アインシュタインのことばです。素晴らしい人生を！

片山 博俊

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。「人生には出会いがあり、別れがあります。別れは、寂しいものですが、必ず、新しい出会いが待っています。今後の出会いを大切に、親友と呼べる人を作ってください。お互いが、切磋琢磨して、高めあってください。未来に向かって突き進んでいこう。」

楠木 誠治

ご卒業おめでとうございます。四月から新しいステップへ進みます。私とは一年間のおつきあいでしたが、皆さんのたくましさを感じられる年になったと思います。どうか自分を信じて新しい環境で頑張ってください。

森本 奈緒美

のどかな海、なだらかな峰、さわやかな風、太陽の温もり、すべてを感じることのできる校庭。そんな環境の中であなたたちは育まれました。

そんなあなたたちの前に、今、未来への扉は大きく開きます。大地が、太陽の恵みを吸収して内からゆっくりとあたたまり、地上のあらゆるものを育むように、あなたたちも、大地のように衆知(多くの人の知恵、知識)を吸収し、内から自身(心と知恵)をみがき、あたたため、心豊かな人生を歩んでください。ご卒業おめでとうございます。

「卒業おめでとう」がきます」

廣田 隆弘

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。みんなとは中学校入学からの三年間をともに過ごしてきましたね。理科の授業、学校行事など、いろいろなお話ができました。

中学校卒業後は、様々なことがみんなを待っています。自分をしっかりと見つめ、じっくりと考え、正しく行動することを心がけてください。将来、みんなが活躍し、大きく飛躍してくれることを期待しています。「気は力なり」最後に、僕の好きな言葉を贈ります。

「祝☆卒業」

中筋 千晶

Congratulations on your graduation! 皆さんと一緒に過ごした時間は何にも代えがたい大切な宝物です。小学生の小さくて、かわいかった頃から、今の頼もしく、素敵になったみんなの成長をそばで見ることができたことを感謝しています。思い出すのはみんなの笑顔ばかりです。また、その笑顔を見せに来てくださいね。素直であることは、きっとこれからもみんなを成長させてくれると思います。素敵な素直さ、大切にしてくださいね。

「「卒業おめでとう」がきます」

橋爪 恵子

皆さんとは音楽の授業を通して三年間一緒に過ごしてきました。表現や鑑賞を通して、少しでも音楽の楽しさや美しさを感じて、伝えられたのではないかと思います。これから始まる新しい世界で、それぞれの「夢」や「目標」に向かって精一杯がんばってください。二人の皆さんと過ごせて楽しかったです。

森田 わか

学校生活を送るなかで、ふとしたときに、みなさんのあどけない小学生の頃を思い出して、懐かしさとともに月日の流れ、そして、それぞれ

の成長を感じることがありました。心も体も大きく成長しましたね。みなさんには、これから先も大きく羽ばたいてゆく希望と可能性を感じます。考える力、困難に負けない力、人を思いやる力、人を癒す力...たくさん「力」を育て、どんなときも自分の「力」を信じてください。

田中 美恵子

ご卒業おめでとうございます。この一年間、三年生として学校の中心となり、いろいろな場面で大いに取り組み、力を発揮していましたね。

これからは、いろいろな道に分かれて進んでいくと思います。いろいろなことを経験し、人としても大きくなってください。出合いを大切に。友達を大切に。自分を大切に。

武田 美木

「ありがとう」この言葉を聞いて、だれもいやな思いをする人は、いないと思います。何事にも感謝する心を忘れないでほしいです。また、言葉は声に出さなければ、相手に伝わらない事もたくさんあります。周りの人たちとのかかわりの中で、自分の気持ちを伝えられるように、人の言葉を受けとめられるように、これからの日々を過ごしてください。みんなと出会えたことに感謝します。

2013/6/11 歌舞伎鑑賞

入門公演



2013/9/18 体育祭



2013/12/13 マラソン大会

2013/5/22 修学旅行



2014/2/10 ぜんざい

